

# 大口町中地域計画

## 1 計画の名称

第2次 向こう三軒両隣推進計画

## 2 計画の期間

2024年度～2028年度（5年間）

## 3 計画策定の趣旨

地方分権と少子高齢化の時代背景の中で「地域でできることは地域の住民と汗を流そう」との基本方針を掲げて中地域自治組織を設立し、以降、様々な活動に取り組む中で、この地域の抱える課題も浮き彫りになってきている。

ここで、設立時の原点に立ち返り、地域の抱える課題と目指すべき未来を改めて考え、次世代を担う人達に「安全安心で夢と希望が持てるまち」としてこの地域を引き継いでいけるよう、地域が目指すべき姿に向けて計画的に事業を推進するため、計画期間5年の地域計画を策定する。

## 4 中地域の概要

中地域は、名鉄柏森駅にも近接した全域が市街化区域の住居系地域であり、地域の南北を2本の県道（斉藤羽黒線、江南岩倉線）に挟まれ、地域内には3本の主要町道（柏森大口線、余野線、小口線）が縦横断する交通利便性の高い地域である。一方、古い集落内の生活道路に関しては、幅員狭小の箇所もあり、車両の通行に不便な地域も存在する。

余野区、垣田区、さつきヶ丘の3行政区で構成されており、区域、人口共に余野区が大半を占めている。人口構成は、余野区5,893人（2,446世帯）、垣田区662人（350世帯）、さつきヶ丘区841人（369世帯）。人口減少が叫ばれる社会情勢の中、全体で見れば人口は微増の状況であるが、3区の状況はそれぞれ違い、余野区は増加、垣田区は減少、さつきヶ丘区は横這いである。

幼年（0～14歳）人口は減少し（H29.3.1 15.9% → R5.4.1 15.2%）高齢（65歳以上）人口は増加する（H29.3.1 18.3% → R5.4.1 18.6%）という少子高齢化の状況は年々進んでいる。高齢化率は、地域全体では18.6%と町全体の高齢化率（23.1%）よりも低く、他の地域に比べ若い地域ではあるが、垣田区は33.2%、さつきヶ丘区は30.1%と町内でも高齢化率の高い地域を内包している。

\*人口、世帯数については令和5年4月1日現在のもの

## 5 地域の現状と課題

### ○各地区の現状

**余野区**：土地区画整理事業終了後宅地開発が進み、住宅の新築、アパート等への転入により人口が増加した、直近20年ほどの間に転入してきた新しい住民の割合が高い地域である。若い世代の転入が多く、高齢化率が町内で最も低い（15.1%）地域であるが、若い世代の地域への関心が薄いことにより区会や子ども会組織の運営に課題を抱えている。

**垣田区**：県営大口住宅を主とした区域で入居者の出入りもあり、また、公営住宅という特性から高齢者世帯や障がい者世帯、外国人世帯が増加してきており、区会役員のなり手の確保が難しくなっている。

さつきヶ丘区：昭和40～50年代に建築された住宅が多く、高齢化率が町内でも高く（30.1%）、後継者世代がいないため高齢者世帯が増加している。地域の現状を踏まえ、防災や見守り等に関して、独自の取組みを行っている。

#### ○各地区における悩み

- ①人口規模の拡大による区事業の執行等に限界を感じ改革を進めているが、更なる見直しの必要性を感じている（余野区）
- ②若い世代・後継世代世帯が区会行事に無関心（全区）
- ③子ども会組織に未加入世帯が多い（余野区）
- ④高齢者世帯との交流が少ない（全区）
- ⑤コミュニティ場所の会合等、利用は多い（全区）
- ⑥区と諸団体組織との交流が不足（全区）

地域の全域が住居地域であり、そこに住む人と人との「対人関係」が重要であると言える。新住民の流入、核家族化の進行、高齢者と若い世代との遊離など様々な要因により地域の絆が薄れてきており、現在表面化してきている様々な問題の根幹には、地域力の低下があると考えられる。

また、全区に共通して住民が最も不安に感じている事項に南海東南海地震に関する対策が挙げられる。地域力を向上させ、中地域の現状に合わせた住民相互の助け合いによる大地震への備えを進めることも、地域全体で取り組むべき急務であるとする。

## 6 計画の目標

### ○地域が目指す基本目標

「向こう三軒両隣の絆で住民同士が支え合う 安全安心で夢と希望が持てる中地域」

日本のよき文化であった「向こう三軒両隣」の精神を取り戻し、世代を超えた住民同士の交流が盛んで、地域に住む全ての住民が夢と希望が持てる明るいまちづくりの活動を推進する。

### ○5年間の目標

基本目標を達成するために、今計画期間内において次の5つの目標を掲げる。

- (1) 安全安心の地域づくり  
…防災防犯に関する意識高揚を図り、住民相互の見守りによる安全安心対策を具体化する。
- (2) 地域が育てる子どもの躰  
…地域全体で子どもを育てる風土を形成する。
- (3) 高齢者の健康生きがいづくり  
…高齢者の健康を増進し、生きがいを得られる場を提供する。
- (4) 交流が育む地域づくり  
…世代や地域を越えて誰もが立ち寄れる交流の場（場所、催し）をつくる。
- (5) 中地域自治組織の体制強化  
…組織が担うべき役割を明確にし、役割を果たすために必要な人材を確保、育成する。

7 計画期間内に取り組む事業

No	目標区分	新規継続	事業名	事業内容	期待される効果	主な協力者	担当課	備考
1	(5)	継続	事務所機能整備	令和5年3月に事務所を、余野学習等共同利用施設内に移動し、事務機能を向上させる。地域内の中心に置き足を運びやすくした。	事務所の有効活用、情報の適正管理	—	—	
2	(4) (5)	継続	代議員・地域協力員懇談会	代議員や地域協力員との懇談会を開催し、地域の意見を聞き、事業の執行に際し意見を反映する	地域課題の発見、ニーズの把握	—	—	
3	(1)	継続	青色防犯パトロール活動	青色防犯パトロール車による地域内巡回を実施する。	犯罪の抑止、防犯意識の啓発、危険個所等の確認	行政区、自主防災会	町民安全課	
4	(1)	継続	防犯・防災啓発活動	防犯防災に関する横断幕を地域内の公園等に掲示する。	防犯防災意識の啓発	行政区	—	
5	(1) (4)	新規	3行政区合同防災訓練	中地域内の避難所である大口西小学校を中心とした災害時の参集、避難所の設置・運営に関する避難訓練を実施	防災意識の啓発、行政区との役割分担の明確化	行政区、自主防災会、消防団	—	
6	(1) (2)	継続	西小学校サポート事業	小学生を対象とした自転車安全走行教室とつれさり防止教室を実施	交通事故の減少、交通マナーの向上 つれさり被害から自身を守る方法を学ぶ	江南警察署	—	
7	(3) (4)	継続	ポールウォーキング会	ポールウォーキング会を実施 春と秋の2回	高齢者の健康増進と介護予防、高齢者同士の交流、引きこもりの防止	ポールウォーキングリーダー	—	
8	(3) (4)	継続	健康推進体操会	ヨガや太極拳等の高齢者でも、無理のない体操教室を開催	高齢者の健康増進と介護予防、高齢者同士の交流、引きこもりの防止	—	—	
9	(1) (3)	継続	見守り勉強会	地域住民による、裾野の広い見守り活動を推進していく。	子どもの見守り、高齢者の生きがいがづくり、犯罪の抑止、事故防止	区長、民生・児童委員、高齢者福祉協力員、健康推進員		
10	(4)	継続	住民交流イベント	地域住民の交流の場として交流イベントを開催健康や福祉、防犯等のテーマを決めて各種講演会を実施	住民同士の交流、地域課題の共有、見守り意識の啓発	江南警察、各NPO団体	—	
11	(4)	継続	交流の場の設置	世代を超えて住民が集える場所を開設する。	住民同士の交流	行政区	—	
12	(2) (3)	継続	西小学校への出前授業	中地域の歴史、地域内に在る史跡、地域特有の民俗に関し調査研究を実施し児童に伝える	地域への愛着、世代間交流	—	—	
13	(2) (3)	継続	なかちいきさんぽ	中地域内の史跡を巡り、地域特有の歴史を学ぶ	地域への愛着、世代間交流	—	—	
14	(4)	継続	語学・料理教室	中地域在住の外国籍住民を講師とした語学・料理教室を実施	多文化交流、外国籍住民の居場所づくり	—	—	
15	-	継続	情報発信	かわら版の発行	地域での情報共有	—	—	
16	(2)	新規	西保育園食育サポート	西保育園、畑の管理と給食用野菜の耕作	西小学校区域の住民の交流		子ども課	